

「あすみ井」発明！ 下大和田のお米や小山町の野草を使って

江澤千春（あすみ小・5年生）

わたしの学校では、総合・生活学習で調べたものを発表する「あすみっ子祭り」という行事があります。5年生は「あすみ井を発明しよう」というテーマで調べ学習を進めました。

まず、学年で説明を聞き、個人のテーマを決めました。わたしは「下大和田のお米や小山町の野草を使ったあすみ井」というテーマにし、試作するまでにやらなければならない課題を考えました。課題の中には、食べられる野草を調べるといのがありました。『植物』という本やインターネットを調べ、秋でも食べられるものは、ムカゴだと知りました。

個人で決めたテーマをもちより、試作・発表のためにグループを決めることになりました。同じようなテーマをもった小松寧々さんといっしょになりました。小松さんも小山町のイベントによく参加しています。二人のテーマを合体させて「小山町の自然をイメージしたあすみ井」というテーマに決めました。

井ぶりの中にムカゴはぜったいに入れたいと思い小山町にとりに行ったのですが、みあたりませんでした。地元の方が「近くのゴルフ場のフェンスにたくさんなっているよ」と教えてくださり、そこにとりに行きました。ムカゴがとれる時期よりも少し遅かったけど、10個くらいあったのでよかったです。



次に試作にとりかかりました。自然のイメージをどう表現しようか迷っていましたが、下大和田の谷津田でお世話になっているけいぞうさんの案で野菜を花や葉などの形に切ることになりました。材料は、にんじ

ん、さつまいも、さといも、ムカゴ、ブロッコリー、ウィンナーを使うことにしました。にんじんは花、さつまいもは葉、ブロッコリーはそのまま使い木にみたて、ウィンナーでサワガニを作ることに決めました。みんなの井ぶりで使うお米は、豊作だった下大和田の谷津田米をゆずってもらいました。

ようやく、調理がはじまりました。まず、器具を洗い、具材を切り始めました。そしてガラスなべでごはんをたきました。白米の他、いった玄米と黒米、赤米、緑米を入れました。ごはんの色は白と茶がメインで、黒米のまわりが紫色になっていました。そのごはんの上に、焼いたウィンナーとゆでたやさいをのせて完成！

本当は、のりのトンボと、じゃがいものカエルも作りたかったのですが、時間がなくてできませんでした。さつまいもはとてもおいしくて、さといももホクホクしていました。ウィンナーは少しこげたけど、おいしかったです。お米は、玄米や黒米、赤米がプチプチしていて、緑米と白米はモチッとしていました。



11月18日、いよいよ発表の日です。お客さんがたくさん来ました。まずは谷津田の紹介をしました。谷津田がどんなところか、説明しました。次に小山町の生き物紹介です。オニヤンマ、ナナフシ、サワガニをそれぞれ、クイズにして紹介しました。最後に緑米、赤米、黒米を用意し、粉をむいて、中はどんな色かをあてるクイズをしました。みんな、緑米や赤米を黒米だと思っていたみたいで、おどろいていました。

試作品もおいしかったし、発表もうまくいったので、とても満足しました



里山たんけんレポート

第 83 回「下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い」報告

2006 年 12 月 3 日(日) 晴れ

薄曇りながら、暖くなり、メダカも姿を現していました。

昆虫ではコバネイナゴがまだ頑張っていました。鳥は冬鳥も到着してきて賑やかになって来ました。オオタカと思われる 2 羽の飛翔も見られました。猛禽類を見るとなんだか豊かな気分になります。足元には猛禽にでも襲われたのかコガモの羽根がかたまって多数散乱もしていました。また、エナガ、シジウカラ、メジロの混群が間近に来て、可愛い姿をたっぷり見ることが出来ました。カヤネズミの巣探しは草が倒れてしまい探しにくく、1 つしか見つかりませんでした。今日の 1 つ、カヤネズミ

田んぼの 3 つ、金谷さんの田んぼの 7 つ、計 11 個が今年の巣の数でした。
(参加者 大人 7 名、小学生 2 名、幼児 1 名 報告:網代春男)

第 67 回 下大和田 YPP「古代米のもちつき」報告

2006 年 12 月 16 日(土) 晴れ



2006 年最後の YPP の締めくくりとなるもちつき大会には留学生 7 名を含む約 30 名の参加者が暖かい日差しの中でこの谷津田で収穫されたもち米を 4 臼搗きました。初めての大人も子どもも平田さんの臼の端にきねをぶつけることなくじょうずに搗けました。米が蒸しあがるまでは越川さんの案内で谷津田の観察をし、からみもちや餡もちで満腹後はウルトラクイズを楽しみ、決勝戦には日本語がよくわかる外人 4 人が残りましたが、石橋夫人が勝ちました。2007 年の干支のいのししブローチ(渋谷氏手製)がプレゼントされ、皆大喜びでした。

(参加者 大人 27 名、幼児 6 人、小中学生 3 人;報告:南川忠男)

第 17 回 小山町自然観察会とコシヒカリ試食会 報告

2006 年 12 月 17 日(日) くもり

昨夜からの雨はやんでいましたが、どんよりとした曇り空。そのためかいつもより参加者も少なめでした。それでも、早朝からお宮のそうじをなさっていた地元の方が、「はき集めた落ち葉の中にカブトムシの幼虫がいたよ」と声をかけてくださり、参加した子どもたちは大はしゃぎ。また、試食会の準備のためのたき火で楽しく火遊びも始めていました。下大和田の収穫祭でも活躍したかまどでコシヒカリを炊き、キャンプ用のガスコンロを使ってコシヒカリに黒米を混ぜて炊きました。1 時間ほど

ごはんが炊きあがり、火あそびしていた子どもたちは、具だくさんのトン汁が煮えるのを待ちきれず、早々にごはんの試食。「おいし~い!!」の大合唱。自分たちで育てたお米を味わっていました。お腹いっぱいになったあとは、観察会に参加したり、丸太棒をシーソーにみたて遊んだり、わらでなつ縄で縄跳びしたりと、子どもたちはそれぞれ楽しんでいました。遊び終わったあとはもちろん、「おなかすいた~」と、残ったトン汁とごはんを食べていました。まさに食べて、遊んでの大満足の 1 日となりました。



(参加者 大人 6 名、小・中学生 7 人、幼児 2 人;報告:松下恵美子)

谷津田で一年中見られるお馴染みの鳥。田起こしや田植えなど作業をすると餌を探しに飛んで来て、チチージョイジョイジョイと美声で歌って作業の疲れをいやしてくれます。一年中ペアでなわばりを構えて暮らしているので、冬場でもアツアツのカップルを目にします。体が横長で長い尾を上下に振るのがセキレイの仲間の特徴で、街中にもよく似た白黒の鳥がいますがこちらはほとんどがハクセキレイです。セグロは水場から遠く離れることはめったにありません。ハクとセグロは顔の白黒パターンが違うことや飛んでいる時の鳴き声の違い（ハクのチチッとセ



雪の小山の田んぼで (2006/1/21 高山)



グロの濁ったジジッ)で慣れれば簡単に見分けられます。谷津ではもう1種類、お腹が黄色いキセキレイも暮らしています。3種のうち、セグロセキレイだけが日本でしか見られない固有種で(英名: Japanese Wagtail)海外バードウォッチャー憧れの鳥です。体長21cm スズメ大 (高山邦明)

谷津田・季節のたより

下大和田

- 12月 3日(日) アリスイの大きな鳴き声を聞く。シジュウカラ、エナガ、メジロの混群が放棄田のヤナギ林で餌を探していた。(高山)
- 12月 5日(火) 一面霜でまっ白で水たまりは凍っていた。野鳥は、モズなどの常連にツグミ、カシラダカ、アオジ、シメなどが加わって賑やかになり、20種が見られた。(網代)
- 12月16日(土) ウソ、シメ、ヤマガラなどを観察。アオジ、カシラダカ、シロハラなども例年より多く感じられる。(越川)
- 12月24日(日) 電柱の先にノスリが止まっていた。(平沼)
- 12月27日(水) とても暖かく、田んぼにはメダカもジョウもザリガニも姿を出していた。また、たくさんのヨコエビがペアーで泳ぎまわっていた。林縁ではムラサキシジミが日向ぼっこしていた。大雨による増水の跡があちこちで見受けられる。(網代)
- 12月29日(金) ベニマシコがセイトカアワダチソウの実をついばんでいた。ノスリが飛翔。(田中)
- 12月30日(土) 今年としては珍しく冷え込んで田んぼ一面に氷が張る。あし原でアカハラの姿を多く見かける。(高山)



セイトカアワダチソウの実をついばむベニマシコ (2006/12/29 田中)

小山町

- 12月 2日(土) 冷え込んで一面霜でまっ白。シロハラの姿をあちこちで見かける。(高山)
- 12月17日(日) 暖冬でリンドウ、オオイヌノフグリ、ヒメジョオンなどの花をまだ見かける。オンブバッタの姿も。(高山)
- 12月23日(土) 日だまりでキチョウが飛ぶ。(高山)
- 12月29日(金) ハハコグサ、オオイヌノフグリ、ヒメジョオン、セイトカアワダチソウの花がまだ咲いている。(高山)

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ？ と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPの活動は大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。
・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
・小学生以下のお子さんは保護者同伴で参加ください。

第18回 小山町自然観察会と古代米のもちつき

小山町で初めて育て収穫した緑米でもちつきをしたいと思います。元気よくもちをついて、寒さを吹き飛ばしましょう!

日時: 2007年1月28日(日)10:00~14:00 *小雨決行
場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(当日、小山町集会所前に案内を出します)
持ち物: 長靴、軍手、敷物、飲み物、お椀、おはし、皿など
参加費: 300円(今回は食材費を含む特別料金になります)

第85回 下大和田2月の谷津田観察会とごみ拾い

真冬の谷津田で動植物の暮らしを見ながら散策しましょう

日時: 2007年2月4日(日)10:00~14:00 *小雨決行
場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)
集合: 中野操車場バス停に10:00(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:53、9:08、9:23など> 料金は520円)
持ち物: 筆記用具、弁当、水筒、長靴、帽子、敷物、軍手、ゴミ袋など
参加費: 300円(保険・資料代など)
主催: ちば・谷津田フォーラム(ホームページ <http://yatsuda.2.pro.tok2.com/>)
共催: ちば環境情報センター(ホームページ <http://www.ceic.info/>)

第69回 下大和田YPP「林でクラフト&大工仕事」

谷津田に面した林で、物置の整理や活動の看板作成、木の名札づくり、ブランコの補修など、様々な大工仕事をしたり、ネーチャークラフトをしたりして真冬の日を楽しみます。念願のツリーハウスづくりにもいよいよ取りかかります! 小さなお子さんでもどなたでもできる作業がたくさんありますので、皆さんでお出かけ下さい。また、アカガエルの産卵の季節ですので、恒例の田んぼの卵塊数調査も行います。

日時: 2007年2月18日(日)10:00~14:00 *小雨決行
場所: 千葉市緑区下大和田谷津田
集合: 中野操車場バス停に10:00
持ち物: 弁当、飲み物、敷物、長靴、軍手など。
参加費: 300円(保険・資料代など)
主催: ちば環境情報センター(同上)
共催: ちば・谷津田フォーラム(同上)

編集後記 *みなさん、新年おめでとうございます。下大和田と小山の谷津田で今年はどんな活動をしようかといういろいろ考えると夢が膨らみます。休耕田・放棄田が広がる両地域でどのように保全を進めたらよいのか今年はまだ少しして長期的な視点で考えてみたいと思います。今年も地元の方々にご理解、ご助言をいただき、イベントに参加して下さる皆さんに支えていただきながら、楽しく活動を続けていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお祈りいたします。今月号から「谷津田生きもの図鑑」と題して谷津田に暮らす様々な生きものを紹介していきたいと思っております。(高山)

*新年明けましておめでとうございます。あすみが丘を代表する井ぶりの1つとして小山町をイメージしてくれたこと、とてもうれしく思いました。原風景として、子どもたちの中に小山の谷津田が少しでも残ってもらえたらと願ってやみません。今年も地元の方のご理解、ご協力を得ながら活動を続けていきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。(松下)